

令和4年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○令和4年度教育施策の柱である「スクールESDくさつ」英語教育草津のStandard「New草津型アクティブラーニング」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成する。

【学校 目標】

○読み解く力の育成 ～持続可能な社会の創り手を育てるために～
○指導と評価の一体化

【現状と課題】

○視点1 授業におけるICT機器の活用は概ねできている。各教科におけるICT機器の効果的活用、New草津型アクティブラーニングによる授業改善の推進を行っていく必要がある。
○視点2 学習規律「学びのきまり」を生徒自身に考えさせ、生徒全員が共通理解意識しながら授業に参加することはできる。学習内容を深く理解できるように、学習の基盤となる資質・能力(言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等)をさらに育成する必要がある。

○視点3 全教科において教科マネジメントに取り組むことは概ねできている。家庭・地域・学校が相互に連携、協働できる「チームとしての学校づくり」をさらに推進していく必要がある。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○授業におけるICT機器の効果的な活用による授業改善を進める。	・全教職員における毎月の評価シート(10段階) 「タブレット端末を活用して、協働的な学習を実践している。」の肯定率(7~10) 80%以上	B	
○New草津型アクティブラーニングによる授業改善を進める。	・学校「生徒アンケート」(生徒)(4段階) 「電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすい。」において「4 あてはまる」の肯定率20%以上	A	

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○ESDの視点に立った総合的な学習時間の充実を図る。	・全教職員における毎月の評価シート(10段階) 「他教科のカリキュラムを意識し、協働で効率的なカリキュラムの再編成を実践している。」の肯定率(7~10) 80%以上	B	
	・学校「生徒アンケート」(生徒)(4段階) 「学校や地域社会をよくするために、行動できる。」において「4 あてはまる」の肯定率20%以上	A	

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○OJTを取り入れながら、全ての教員の指導力向上を図る。	・全教職員における毎月の評価シート(10段階) 「教科や校務分掌を意識して、専門的指導力向上を心がけている。」の肯定率(7~10) 80%以上	B	
	・学校「生徒アンケート」(生徒)(4段階) 「授業中に先生は、質問に対して、ていねいに対応してくれる。」において「4 あてはまる」の肯定率20%以上	A	
	・学校「保護者アンケート」(保護者)(4段階) 「学校は、子どもの学力や体力が高まるよう熱心に取り組んでいる。」において「4 あてはまる」の肯定率20%以上	B	

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ①校内研修…随時開催
第1回校内研修(今年度の取り組みについて)…令和4年4月7日(木)
- ②教科別担当者会議…随時開催
第1回教科別担当者会議(第1回校内研修を受けての教科部会)…令和4年4月22日(金)
- ③校内ICT研修会…1学期(教科別)→市教育委員会より講師を招いて実施
- ④校内ICT研修会…開催日未定(全教職員)→講師を招いて実施
- ⑤ICT推進校への代表者研修…6月

今年度の取組の成果と課題

--